



第10号  
 編集発行／碧南市  
 哲学たいけん村  
 無我苑  
 所在地／碧南市坂口町3-100  
 〒447-0087：TEL. 0566-41-8522  
 ：FAX. 0566-41-7761



依屋宗達 風神雷神図屏風：風神図 部分 国宝 建仁寺

**特集**  
**新作ハイビジョンソフト**

『新作ハイビジョン上映時間』 (平成10年11月より)

| 午前          | 午後              | 夜間          |
|-------------|-----------------|-------------|
| 11時～<br>12時 | リクエストに応じて<br>随時 | 18時～<br>19時 |

※午後の上映はご覧になりたい日の前日までにご予約ください。

平成十年に購入した新作ハイビジョンソフト「日本美術の至宝」絵画編」を月替わりで上映しています。番組は広報へきなん、碧海キャッチネットワーク、ハイビジョンギャラリーでご案内します。

番組別作品一覧  
★一巻

### 涅槃と再生

仏涅槃図(ぶつねはんず) 金剛峯寺/釈迦金棺出現図(しゃかきんかんしゅつげんず) 京都国立博物館

●解説 最後の旅に出た八十歳のブツダ(釈尊)は病の身を娑羅双樹の元に横たえ、涅槃の時を迎えます。

### 来迎図

阿弥陀聖衆来迎図(あみだしょうじゅらいごうず) 有志八幡講十八箇院/阿弥陀二十五菩薩来迎図 早来迎 知恩院/山越阿弥陀図 禅林寺

●解説 楽の音もにぎやかに、金色の光に満ちて往生者を極楽浄土に迎えにあらわれる阿弥陀如来と菩薩たち。来迎図は必ず死を迎えねばならない人間にとって、死に至福のときに転じるものでした。その十一〜十三世紀の代表作を見ます。

### 曼茶羅

弘法大師像「部分」 西新井大師総持寺/両界曼荼羅図 伝真言院曼荼羅図 東寺

●解説 平安時代、空海などによってもたらされた新しい仏教いわゆる密教の教えを图示したものが曼荼羅です。胎蔵界と金剛界という対をなす二つの曼荼羅の極彩色の仏・菩薩は、力強くエキゾチックな美しさにあふれています。

### 月次風俗図屏風

月次風俗図屏風(つきなみふうぞくずびょうぶ) 東京国立博物館/山水屏風(せんずいびょうぶ) 神護寺

●解説 正月の松囃子。花の下に宴する人々。そして田楽に浮き立つ初夏の頃。ここには、四季折々に練り広げられる人と自然の営みが鮮やかに捉えられています。公家・武家・庶民の老若男女が画面狭しと躍動する、近世風俗画の先駆。

### 洛中洛外図

上杉本  
洛中洛外図 上杉本 米沢市教育委員会/京洛月次風俗図扇流屏風(けいらくつきなみふうぞくずびょうぶ) 光円寺

★二巻

### 舟木本

洛中洛外図屏風 舟木本 東京国立博物館/洛中洛外図屏風 町田本 国立歴史民俗博物館/遊楽図屏風: 相応寺屏風のうち平家物語鶴川の軍「部分」 福井県立美術館/四季耕作図屏風「部分」 出光美術館

●解説 繁栄する都のうちそとを大観する洛中洛外図は室町時代後期に成立し、江戸時代まで続き、近世初期風俗画の母胎となりました。

### 邸内遊楽図

遊楽図屏風 相応寺屏風 徳川美術館

●解説 近世初期風俗画に妓楼(ぎろう)が登場し、次第に遊里の室内に視点を移した風俗画が主流となつていきます。「相応寺屏風」は、その先駆的作品であり、八曲一雙の大画面からは近世の享樂的な遊びに打ち興ずるさまざまな嬌声が伝わってきます。

### 彦根屏風

彦根屏風 井伊家史料保存会/歌舞伎図巻「部分」 徳川美術館/維摩居士像(ゆいまこじぞう) 京都国立博物館/山水図屏風「右隻」 太山寺

●解説 美しい小袖を粋に着こなし、三味線をひき、双六をして、享樂の巷、遊里で遊ぶ人々。屏風には仕掛けが施されています。

### 本多平八郎姿絵と湯女図

本多平八郎姿絵屏風 徳川美術館/彦根屏風 井伊家史料保存会/露殿物語絵巻「部分」 逸翁美術館/遊楽図屏風: 相応寺屏風「部分」 徳川美術館/江戸名所図屏風「部分」 出光美術館/湯女図(ゆなず) MOA美術館/寒山図(かんざんず) フリア美術館

●解説 「本多平八郎姿絵」と「湯女図(ゆなず)」——背景のない、一見シンプルなのにこの二点の作品の奥に隠された物語を読み取ります。

### 南蛮屏風

南蛮屏風「左隻」 逸翁美術館/南蛮屏風「部分」 個人蔵/都の南蛮寺図 神戸市立博物館/南蛮屏風 大阪城天守閣/南蛮屏風 神戸市立博物館/南蛮屏風 サントリー美術館

●解説 入港する巨大な帆船。上陸するカピタン一行の華麗な行列。陸揚げされる珍奇な品々。その風景を大画面に写した南蛮屏風は、四百年前初めて西洋文明に遭遇した桃山の人々の感動と憧れを今に伝える魅力溢れる風俗画です。

### 源氏物語絵巻

源氏物語絵巻 竹河二・東屋一・早蕨(さわらび)・柏木一・三・宿木二・橋姫・宿木三 徳川美術館/源氏物語絵巻 鈴虫一、二・夕霧・御法詞書一〜三・御法 五島美術館

●解説 平安貴族の恋と宿命を描いた「源氏物語絵巻」は、紫式部の原作を鮮やかに描き出した絢爛たる王朝絵巻です。華やかな色彩、引目鉤鼻(ひきめかぎはな)、吹抜屋台(ふきぬきやたい)といった技巧を駆使したこの絵巻は、八百年の時を隔てて私たちが王朝の世界に誘うのです。

### 伴大納言絵巻

伴大納言絵巻 出光美術館／後白河法皇  
坐像 長講堂／年中行事絵巻 田中家

●解説 平安時代末期に制作されたこの作品は応天門の炎上をめぐる伴大納言の陰謀と失脚をドラマチックに描く代表的絵巻物です。

### 信貴山縁起絵巻

信貴山縁起絵巻(しぎさんえんぎえまき) 朝護孫子寺

●解説 この絵巻物は大和と河内の境、信貴山にこもる命蓮という僧侶をめぐる三つの奇蹟の物語を描いたものです。

★四巻

### 鳥獣人物戯画

鳥獣人物戯画 高山寺・東京国立博物館

●解説 相撲をとる蛙と兎の絵をはじめ、遊び戯れる動物たちを擬人化したこの絵巻は、日本の漫画の原点とも言われます。

### 一遍上人絵伝

法然上人像「部分」二尊院／親鸞上人像

「部分」奈良国立博物館／道元禅師像  
「部分」宝慶寺／一遍上人立像 長楽寺／  
一遍上人絵伝 歓喜光寺・清浄光寺・東  
京国立博物館

●解説 鎌倉後期に制作された「一遍上人絵伝」は、時宗の開祖、一遍の生涯を描いた絵巻です。日本各地の自然と中世社会の風俗を通し、念仏勧進のために一切を捨て、旅の一生を送った一遍上人の

信仰の人生を辿ります。

### 春日権現験記絵

春日権現験記絵模本(かすがごんげんけんぎえもほん) 東京国立博物館

●解説 藤原氏の氏神として篤い信仰を集めていた奈良、春日大社。西園寺公衡(さいおんじきんひら)の発願により、春日権現の霊験譚(れいけんたん)が自然の織りなす四季とともに豊かな色彩と確かな筆使いで二十巻の大作に仕上げられています。

★五巻

### 雪舟

(1420~1506)

天橋立図 京都国立博物館／四季山水図  
東京国立博物館／自画像模本 藤田美術館／山水図 正木美術館／四季山水図  
石橋財団石橋美術館／四季山水図巻：山水長巻 毛利博物館／秋冬山水図 東京国立博物館

●解説 日本水墨画に大きな足跡を残した室町後期の画家、雪舟が中国で学んだのは何か。中国に渡る前の「山水図」、在明中の「四季山水図」、帰朝後の「山水長巻」にふれながら代表作「天橋立図」がどのように描かれたのかを探ります。

### 狩野永徳

(1543~1590)

四季花鳥図襖・琴棋書画図襖(きんきしよがずふすま) 聚光院／洛中洛外図屏風  
上杉本 米沢市教育委員会／唐獅子図

屏風 宮内庁三の丸尚蔵館／檜図屏風(ひのきずびょうぶ) 東京国立博物館

●解説 戦国時代の終わりに登場し、桃山時代を嵐のごとく駆け抜けた狩野永徳。彼の作品は、近世の幕開けを飾り、また、武將たちの天下統一という偉大な仕事のプロセスを彩っていました。

### 長谷川等伯

(1539~1610)

松林図屏風 東京国立博物館／枯木猿猴図(こぼくえんこうず) 龍泉庵／観音猿鶴図のうち猿図 大徳寺／楓図襖(かえずふすま)・桜図襖 智積院／山水図襖 隣華院

●解説 一地方絵師から身を起こし、狩野家と対抗する実力を発揮した長谷川等伯は、激動の桃山時代の風潮を体現した画家でした。

### 俵屋宗達

(?~1640頃)

鶴下絵三十六歌仙和歌巻「部分」 京都国立博物館／平家納経囃果品見返・平家納経願文見返 敵島神社／謡本(うたいぼん) 東京芸術大学図書館／新古今和歌色紙帖 東洋美術館(ベルリン)／四季草花下絵和歌巻「部分」 畠山記念館／扇面散屏風(せんめんちらしびょうぶ) 出光美術館／伊勢物語図色紙 芥川 大和文華館／源氏物語関屋濡標図屏風(げんじものがたりせきやみおつくしびょうぶ) 静嘉堂文库美術館／松島図屏風 フリア美術館(ワシントン)／風神雷神図屏風 建仁寺

●解説 町絵師から身を起こしたと言われる画家・俵屋宗達は、王朝以来の美意識に全く新しい生命を吹き込んで、琳派の礎を築きました。

### 尾形光琳

(1658~1716)

燕子花図屏風(かきつばたずびょうぶ)・  
銹絵梅図角皿(さびえうめずかくざら)  
根津美術館／四季草花図巻 個人蔵／躑躅図 畠山記念館／白地秋草模様小袖・  
竹梅図屏風 東京国立博物館／千羽鶴図  
香包(せんぱづるずこうづつみ) 個人蔵  
／銹絵松に鶴図六角皿(さびえまつにつるずろっかくざら) 個人蔵／紅白梅図屏風 MOA美術館)

●解説 江戸時代中期、京の有名な呉服屋に生まれた光琳は、優れた画家であり、意匠デザイナーであり、工芸家でした。

★六巻

### 池大雅

(1723~1776)

十便十宜画冊のうち課農便図(かのうべんず) 川端康成記念会／渭城柳色図(いじょうりゅうしよくず) 敦井美術館／陸奥寄勝図巻(むつきしやうざかん) 「部分」個人蔵／浅間山真景図 個人蔵／金碧山水画帖のうち漁舟楊柳図(ぎよしゅうよりゅうらうず)、沼沢遊禽図(しやうたくゆうぎんず) サントリー美術館／龍山勝会図屏風(りゅうざんしやうかいずびょうぶ) 静岡県立美術館／瀟湘勝概図屏風(しやうしやうしやうがいずびょうぶ) 個人蔵／樓閣山水図屏風(ろうかく

さんすいびょうぶ) 東京国立博物館／富士十二景図のうち五月 東京芸術大学／東山清音帖のうち瀟湘夜雨図(しようしゅうやうず)・洞庭秋月図(どうていしゅうげつず) 個人蔵／十便十宜画冊のうち沅濯便図(かんたくべんず)・釣便図(ちようべんず) 川端康成記念会

●解説 俗世間を離れ、大自然の懐で過ごす思索の日々。江戸中期の京都に生きた池大雅は、こうした文人の思想をきわめて独創性の強い絵画に表現しました。そこには、旅で鍛えられた観察眼と優れた色彩感覚が息づいています。

### 与謝蕪村

(1716) 1784)

春の海自画賛 個人蔵／自画像自賛 個人蔵／新緑杜鵑図(しんりよくとけんず) 平木浮世絵美術館／十便十宜画冊のうち宜暁図(ぎぎょうず)・釣便図(ちようべんず) 川端康成記念会／山野行楽図屏風 東京国立博物館／奥の細道図巻(部分) 逸翁美術館／鳶・鴉図(とび・からず) 北村美術館／夜色楼台図 個人蔵

●解説 現代でも愛唱される多くの俳句を生んだ与謝蕪村は、江戸期の日本画の革新に大きな役割を果たしました。全くの独学で、文人画に習熟し、俳画を創始するとともに、水墨画では、近代的な詩情が息づく光と色彩の世界を展開していきます。

### 浦上玉堂

(1745) 1820)

山雨染衣図(さんうせんいず)・腕底煙

霞帖のうち層巒曉霽図(そうらんぎょうせいず)、凍雲欲雪図(とううんよくせつず)・寒林間処図(かんりんかんしよず)・山紅於染図(さんこうおせんず)・圓中書画幅(かんちゅうしよがふく)・秋色半分図(しゅうしよくはんぶんず)・醉雲醒月図(すいうんせいげつず)・深山渡橋図(しんざんときょうず)・五言絶句(ごごんぜつ)・雲山模糊図(うんざんもこず)・高下数家図(こうげすらかず) 個人蔵／煙霞帖のうち青山紅林図(せいざんこうりんず)、問津者乎図(もんしんしよかず) 梅澤記念館／東雲節雪図(とううんしせつず) 川端康成記念会／水亭多愁図(すいていたしゅうず) 遠山記念館／籠煙惹滋図(ろうえんじやくじず) 出光美術館

●解説 浦上玉堂は、数え年五十歳にして脱藩し、以後二十年以上、自由な文人として各地を放浪しながら、さまざまな自然の表情を描き続けました。

### 円山応挙

(1733) 1795)

雪松図屏風 三井文庫別館／昆虫写生帖「部分」・朝顔狗子図杉戸絵(あさがおくしずすぎとえ)・雲竜図 東京国立博物館／牡丹孔雀図 萬野美術館／三十三間堂通し矢図眼鏡絵・円山座敷図眼鏡絵 神戸市立博物館／瀑布山水図床貼付(ばくふさんすいずとこはりつけ) 金刀比羅宮／松に孔雀図襖 大乘寺／幽霊図 個人蔵

●解説 江戸中期に円山四条派という一大写生画派を起こした円山応挙。中国の

絵画、さらにはヨーロッパの銅版画の技法まで学び、独自の写生画を確立したその作風は現代にまで受け継がれ、日本画の新しい伝統として幅広く定着しています。

### 伊藤若冲

(1716) 1800)

動植綵絵のうち池辺群虫図(ちへんぐんちゅうず)、秋塘群雀図(しゅうとうぐんじやくず)、蓮池遊魚図(れんちゆうぎよず)、群鶏図(ぐんけいず)、貝甲図(ばいこうず)、老松白鳳図(ろうしようはくほうず)、菊花流水図(きつかりゅうすいず)

●解説 十八世紀の前半、江戸中期の画家、伊藤若冲は、日本の美術史に独自の絵画空間を築きました。

## 本の情報

●保育社カラーブックス

### 円空仏

長谷川 公茂

『円空歌集』をもとに、円空の生涯、思想、信仰に迫る。

●アトリ工出版企画

### 詩歌句 一九九八

永島卓、北川透らの詩、島田修三の短歌、角谷道仁の評論など。年刊誌第七冊。

## 来村者の声(アンケートより)

◎自分自身の可能性をどこまで引き伸ばすことができるか、それをどの様に役立たせるか、たぶん一生悩んでいきます。

(市外 会社員)

◎どうもありがとうございました。毎回ここへ来ますと、気持ちが悪く着きます。あわただしい日常へ戻っていく元気が充電され、なんとなく、またいろいろな個人的な事に頑張ってみようという気になります。また来ますのでよろしく。

(半田市 自由業)

◎「哲学たいけんのために」の文章がとても気に入りました。これからの生き方に取り入れて考えていきたいと思えます。

(名古屋市 主婦)

◎このような文化的施設を料金もとらず運営される碧南市の姿勢に敬意を表します。出来るなら、何度も訪れて気持ちを和らげたいと思います。

(豊明市 無職)

◎非常にリラックスできて良かった。あまり人が多いと本来の意味がなくなってしまうので、静かですごく良いところだと思ふ。

(高浜市 公務員)

◎ボディソニックは盲人の方にも音が楽しく、良い装置でした。

(東浦町 男性)

◎静かな雰囲気の中で「生きる」ことを考えさせてくれます。ありがとうございました。

(市外 公務員)